

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	平成29年5月29日(月)
招集の場所	議員控室
開会	午後1時43分
出席者	委員長 福田 淑子 副委員長 吉田 二郎 委員 柳田 政喜 委員 大橋 昭太郎 委員 橋本 四郎 委員 佐野 善弘 委員 平吹 俊雄 議長 吉田 眞悦
欠席者	なし
職務のため出席した者の職氏名	事務局次長兼議事調査係長 高橋 美樹
協議事項	・視察のまとめ
その他	なし
閉会	午後2時16分

2号様式 協議の経過

	開会 午後1時43分
福田委員長	<p>それでは、皆さん、大変お疲れ様でした。</p> <p>引き続き、教育、民生常任委員会の会議を行います。</p> <p>出席委員は全員ですので、委員会は成立をいたしております。</p> <p>午後からは、短い時間ですけれども、午前中は登米市に視察に行っていましたので、視察のまとめをしたいと思いますので、皆さんからご意見をお伺いしたいと思います。感想でもかまいません。お一人ずつお話しただいて、あとは私がまとめて、議長に提出したいと思います。</p> <p>はい、大橋委員。</p>
大橋委員	<p>今回の視察で特出すべき事項としては、有料化にしているということと、4Rの取り組みであったということと、啓蒙活動では小学生からの副読本を製作して、実際にクリーンセンターを視察しているといったような、小学校からごみについて関心を持ってもらっているような部分が、特出すべき事項だったというふうに感じております。</p>
福田委員長	はい、佐野委員。
佐野委員	<p>はい、登米市という、まとまっていて、施設がわりと少なくこの大崎地域より、やっているということで、歳入から歳出を引いて3億9,000万円くらいだったけれども、人口で割ると4,673円ということで、私のほうではたぶん、1万円前後だと思うのですが、半分くらいで済んでいるというのは非常に、有料化等もあるとは思いますが、リサイクル等の関係でも資源ごみの売り払いも収入にして、管理費を一人当たり少なくした中で運営しているのと、あとは大橋委員と同じなのですが、その辺も今後の検討することも必要ではないかと感じております。</p> <p>以上でございます。</p>
福田委員長	平吹委員。
平吹委員	<p>質問をしてきた、いわゆる草ですね、雑草の処理方法、うちのほうでは多くなってきているということで、やはり袋ですね、袋を逆に今までの袋ではなくて、雑草専用の袋というものを考えて、堆肥化するなりその辺を検討しながら進んだほうがいいのかと、一つは思いました。</p> <p>それから、粗大ごみに、粗大ごみの処理券を発行しているということで、それを含めましても、このカレンダーについてはごみの収集分別がこういうふうに書かれているので、これに見合ったというか、70円ということなのですが、その半分のできるような形の中で、そうするとここで啓蒙もできるのかなと。単なるごみの日数のカレンダーだけではなく、こういうのも取り入れた方向もいいのかと思いました。</p> <p>それから、議長も質問しましたが、来年4年生の方がクリーンセンターの施設見学というのを、やはり弱者からの目に見える関心を持たせることも一つなのかなと思っております。</p>

	<p>そういうことで、この登米市については、確かに山というようなことで堆肥とかそういうふうに行っているところが多いということですが、美里町は美里町のそういう環境の中での方法も一つの手であるのかなと思いました。</p>
福田委員長	橋本委員。
橋本委員	<p>感想ですね。</p> <p>根本的に、わが町はまるっきり、色麻町と登米市よりも全くなっていない。なっていないのは何かというと、町長は施政方針で3Rなんて言っているが、具体的に取り組みのほうを指示していない。担当課にまかせっきりだ。だから、皆さん方、この間の資料で分かったと思うけれども、年間のごみの搬出量をとってみてくれと。4月とか11月とか百トンくらいずつ増えている。何かというと、草だということを集集人にも聞いている。私の地域にもあります。ただ、特定の人なんだ。その特定の人に行政区長や衛生組合長が注意をしないんだ。だから、行政側の対応が悪いから行政区長もいかげんにしている。町民もごみを減らさないといけないということを理解しないとイケない。そういう習慣を、この十何年かしてしまったのが原因なんだ。登米市も色麻町も十分やっているのだから、こういうやっている町の状態を、私はこの町でもやってみると、こういう方法をとらなければこの町はならないんだ。ほとんどが、リサイクルどうするかという問題です。3万円の負担金を出しながら、堆肥化する、生ごみ処理機、これは十年くらい前から各町で行っていることですが、我が町には無い。（「昔はあったんです」の声あり）</p> <p>いや、コンポストだけがあった。ところが、長続きしなかった。</p> <p>だから、問題はそういうことを徹底することを、この資料を見て分かるけれども、この資料を見たら町民は関心を持つと思う。町民に関心を持ってもらうような行政側の手順というのが無かった。</p> <p>だから、私は根本的に、今のごみの収集の問題、ごみの扱いの問題については、各市町の例を十分に実施しなさいということで申し入れをしたほうがいいのではないかという感じがします。</p> <p>皆さん、この中の3枚目の上にある、この回収する油で何をするか分かりますか。</p>
福田委員長	休憩します。
	<p>休憩 午後1時51分</p> <p>再開 午後1時52分</p>
福田委員長	再開します。 はい、柳田委員。
柳田委員	<p>はい、ほとんど、今、言われてしまいました。あとは補助金のほうで言えば、橋本委員が言った以外ですと、資源ごみの回収の報奨金です。</p> <p>こちらのほうに関しましては、実際に効果的なものは出ているわけでも</p>

	<p>なく、現状維持がいいところだったので、どうなのかなと思ながらもやはり、やっているところに出せるのはいいのかなというのがありました。</p> <p>あとは、トレー回収の補助金につきましては、業者さんで実質的にやっているところには必要無いのかなと思います。</p> <p>その他に、目標達成に向けての取り組みの中で、初めて聞いたのが3010(さんまるいちまる)運動ですか、こういうのもいいのかなと思いました。</p> <p>それから、草の関係ですけれども、今までやっている経緯があるので、その辺をもう少し啓発活動をして、草はそれほど、個人宅からは出ないでしょうから、庭の隅にでも置いて処理してもらったり、何よりも、前に言ったと思いますが、町の施設で出る草ですね、それをゴミ袋を持って直接それに入れながら処理しているのが前は目立っていましたので、現状はどうなっているかは確認していませんけれども、町で出るそういう雑草の関係ですか、それを町の敷地の隅のほうに積んで置いて、ある程度、乾燥してから捨てるなり、もしくは、ある程度、堆肥化して花壇なりに使用するという方法があるのかなと思いました。この辺を町のほうが率先して対応していくべきではないかなと、それから住民に言うべきではないかなと思っていますけれども。</p> <p>大体、今、出た中で、私がプラスしたいのはそれくらいです。</p>
福田委員長	はい、吉田副委員長。
吉田副委員長	<p>まず、出す方々の意識改革というか、意識の問題で、最低はそれに尽きるものだと思いますが、今日、今回、私も4Rというのが聞いたことはありましたが、3Rもちょっとまだきちんとできないといったら怒られるけれども、確かにこの4Rというのは、ごみの出るものを絶つというか、そこを拒むことだから、これからは4Rのほうにもっていったほうがいいかと思えますし、あとは、市と広域の違いかどうかは分かりませんが、年度ごとの計画や目標を立てて、こういうふうに行っているのは、当たり前のことだけれども、本町に聞くと、広域のほうでだしているから本町では今までもずっとだしていないというような回答をもらった時もありましたけれど、やはりこれは勉強してもらって、本町独自の目標を決めるのも必要ではないかなと思ってきました。</p> <p>あとは、皆さんが言ったとおりですから、以上です。</p>
福田委員長	休憩します。
	<p>休憩 午後1時56分</p> <p>再開 午後1時58分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。</p> <p>私にも言わせていただいて、いいでしょうか。</p> <p>ゴミ袋の有料化ということをお話されましたが、根本はやはり、副委員長が言ったように、町民の意識改革をしないと、お金がある人はゴミ袋が</p>

	<p>買える、非課税世帯の人達は、今、ごみ袋が1枚15円ですけれども、それが30円、50円になって、どうなのかなと。個人負担にかかってくるのかなという思いですが、有料化についての意見としては、疑問は持ちます。ただ、小学校4年生の全員に副読本をやって、それで、視察を全員がしているというのは、やはり、それだって意識改革なのかなと、小さいうちにね。そういう姿勢を、一回、提言はしているのですけれど、教育委員会が環境の問題として、環境教育をしていかなければならないのかなと考えました。</p> <p>それから、4R運動の中の、私も勉強不足でしたが、平成20年度、21年度でしたか、県で一斉にレジ袋削減ということと合わせて、登米市が行っている4R運動の中身に対して、町でも店に対して協力をもらっていくという姿勢をとらないとだめなのかなと。前にも、柳田委員が、過剰包装をしないようにと町から言えませんかという話がありましたが、それだって4Rの一つ、リフューズだと思います。</p> <p>それで、今、私達が研究している中身を町に対して提言するというのは、視察の目的ですので、私は、町の意識の改革だけがどうのこうののではなくて、町民が一緒になってやるべきことを、議会からも言って、町としてしなければならぬこと、町民がしなければならぬことがあると思いますので、その辺のことを強く感じました。</p> <p>そういうことで、皆さんの意見のまとめを委員長にまかせていただいて、提出することによろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>(「その文章は見せられるのですね」の声あり)</p> <p>はい、もちろん、皆さんにお配りして、間違いは直していただいて、確認させていただきます。</p> <p>他にありませんか。</p> <p>はい、大橋委員。</p>
大橋委員	<p>町もですけれども、広域の関係から言っても、大崎広域の市町が県内で順位が下のほうだということも、問題なのだろうと思うのですね。</p> <p>やはり、全体的な取り組みが違うのかなと感じました。それが何なのかは分からないのですが、まあ、3切り運動ということで始まったということはいいことだと思うのですけれども、どこまでかなというふうな疑問を感じたところです。</p> <p>(「休憩して」の声あり)</p>
福田委員長	休憩します。
	<p>休憩 午後2時4分 再開 午後2時8分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。</p> <p>では、その方向でまとめをさせていただいて、皆さんに提示しますので</p>

	<p>ご協力をお願いいたします。 (「はい」の声あり) 視察のまとめは、以上です。 4番、その他の、所管事務調査については、7月5日、東京都小金井市、 ここはリデュースが全国1位になっている市でございます。 それから、6日は神奈川県鎌倉市、車の中でも言いましたが、ごみ減量 対策課でございますので、鎌倉市もやはり上位ということで、リサイクル 率は第3位となっております。時間につきましては、後ほど、皆さんにお 知らせをしたいと思えます。 (「委員長」の声あり) 橋本委員。</p>
橋本委員	<p>私は反対です。なぜかという、すべきことがいっぱいあるのに、ごみ を出すのがあそこは少ないから行きましょうというのは。 今まで聞いてきた内容さえも実行できない行政なのだから、それがなぜ なのか。行政と話し合う前に、出す側の町民の意向も聞く、収集者の話を 聞く、そういうことをしていくべきであって、あそこの町がごみ少ないか ら聞きましょうなんて、聞いたって何もできてないじゃないか。だからも う、聞くよりも今まで聞いてきたことを実行しなさい。</p>
福田委員長	<p>休憩します。</p>
	<p>休憩 午後2時10分 再開 午後2時15分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。 今日の会議はこれまでにしたいと思えます。 副委員長、あいさつをお願いします。</p>
吉田副委員長	<p>午前中は登米市のクリーンセンター、午後は会議で、大変ご苦労様でご ざいました。 以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。お疲れ様でした。</p>
	<p>閉会 午後2時16分</p>

会議の経過を記載して相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成29年5月29日

教育、民生常任委員会

委員長